

ダスト洗浄篩い分けで細骨材



玉石・玉砂利・砂が豊富に賦存

丸興産業は砕石、砂(ダスト)、玉砂利、再生砕石(RC40)及び表土(埋立・盛土用)、「岩地利」(原石)などの生産・販売を中心に、土木工事や解体、産業廃棄物収集運搬、同中間処理、除雪などの事業を展開する。同社を始めとした河北産業高圧(石巻市)、清和商事(同)、東北ヨーケン(大崎市)などグループ企業全体の売上高は約15億円に上る。建設資材の供給と産業廃棄物の受け入れ・中間処理、再生砕石の供給を通してグループ企業と共に地元(石巻市)の復興に向けて最大限努力する丸興産業を取材した。

丸興産業

会社データ



小野寺靖社長

設立: 1972年7月
所在地: 宮城県石巻市鹿又字欠山51
社長: 小野寺 靖
従業員: 25人
事業面積: 38万3000㎡
(仮契約掘削地含む)
資本金: 3000万円

空気を浄化する石

伊達の福久石

16年度製品出荷量は表土が前年度比42%増の23万㎡、砕石が30%減の3万5000㎡、RC40が25%減の9万7000㎡。昨年3月から石巻港のスーパードック防波堤工事が進捗し、表土(盛土材)の出荷が増加する。砕石の内訳は、C40が50%、25が20%、13が20%、そのほか80、C80、大塊(300以上)、ダストなどが10%。これらは主に路盤材、園芸用の敷石や



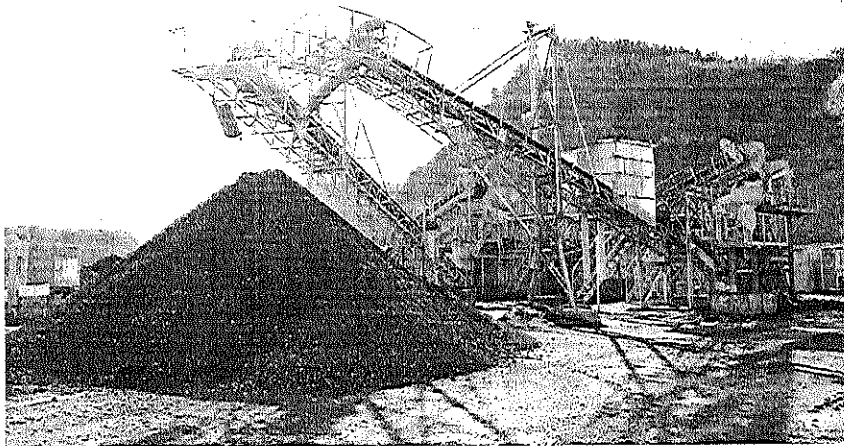
幸福をもたらす伊達の福久石

表土以外の製品のなかで、RCの出荷比率は現在60%を占めているが、コンクリート塊などの廃材の受入量は徐々に減っており在庫はほとんど無いという。今後コンクリート塊などの廃材を確保するため「無料受入(運搬費別)も視野に入れざるを得ない」(小野寺靖社長)と話す。出荷エリアは石巻市、大崎市古川町、東松島市など20区画内。

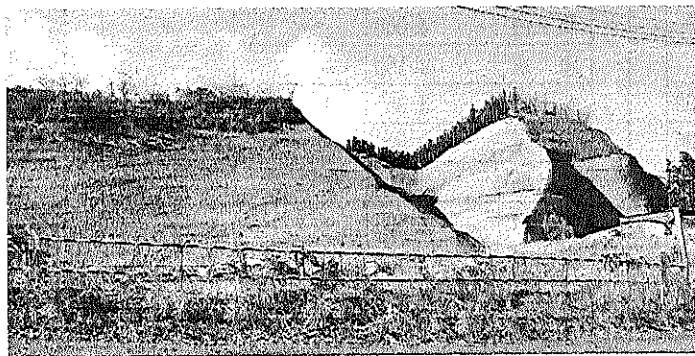
骨材企業は今

～現状と今後の課題～

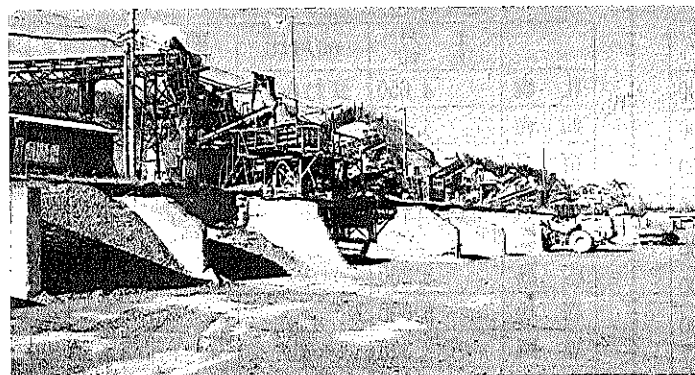
砕石の篩い効率を上げるため92年、篩機を安藤スクリーン製に更新。更



昨年、二次破砕機を更新したリサイクルプラント



旧北上川支流跡の堆積岩層が隆起



更新時期を迎える砕石プラント

高品質RCで差別化

丸興産業は1972年7月に創業。玉石や砂利などの採取地(石巻市)に砕石プラント(処理能力3000㎡/日、郷鉄工所製)を設置し、同年12月から操業を開始した。

砕石プラントは当時、東北6県の砕石・砂利採取業者の中で最大規模だったという。

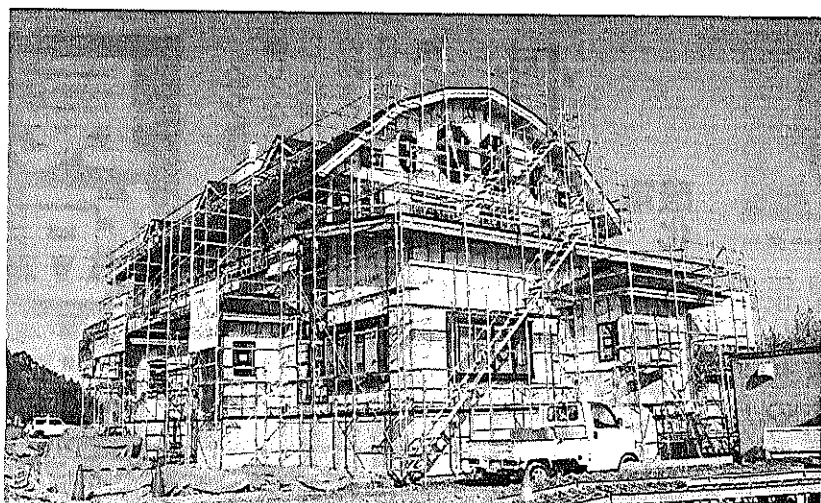
新以前は、水分を含んだ原石粉が居付き、何度目詰りを起こしていたと

力(336㎡/日)を設置。ため05年、二次破砕機の受け入れたコンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、瓦礫類に、砕石プラントから排出されたスラッジと特殊固化材を混合し、RC40を生産。RC40を高品質化することとで同業他社との差別化を図る。採取地(山)は、岩手の玉砂利の生産も可能だ。

砕石の粒形を改善する

県と宮城県を流れ太平洋

グループ総力尽くし復興に貢献



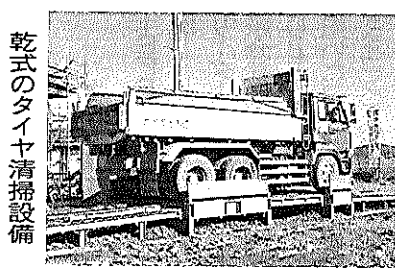
今春完成予定の新社屋

リサイクルプラントは、道工専用クッション材と大塊(コンクリート塊)として販売する考えだ。切羽は凍結・融解後、産するため15年11月、大割(コンクリート)クラッシャー(中割)を導入。予想以上に生産効率が上がったこと、昨年11月に一次、二次破砕機を同社製に更新し処理能力を50%上げた。

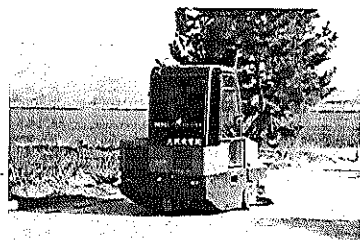
石巻市などの事業エリア内で発生する建設残土のほとんどは現在、有効活用されず廃棄・埋立処理されている。これを有効活用するために、現在の砕石プラントを再生土専用プラントとし、改良土を生産。造成用、下水

リサイクルプラント能力50%増に

リサイクルプラントは、道工専用クッション材と大塊(コンクリート塊)として販売する考えだ。切羽は凍結・融解後、産するため15年11月、大割(コンクリート)クラッシャー(中割)を導入。予想以上に生産効率が上がったこと、昨年11月に一次、二次破砕機を同社製に更新し処理能力を50%上げた。



乾式のタイヤ清掃設備



シャワールーム付休憩室

被災者の声を社員対応で

2011年3月11日に発生した東日本大震災で、10トンダンプ1台と営業車2台が砕石納入先や駐車場で水没したが、人災は無かった。一方、地震や津波で港湾構造物や多くの家屋、建築物が損、倒壊し、コンクリート塊や瓦礫類の受け入れが大量に増え一時ストック量は10万トンを超えたと言う。

特に宮城県東部沿岸地域(女川〜石巻〜東松島)の津波による被害は甚大で、「橋が決壊しているため遺体の収容に行けないので重機の搬送路に埋立用土砂を出荷してもらいたい」、「自宅の地盤が沈下し大雨や満水時に浸水して寝る事ができない」などの声に、社員(社長不在時)が対応。土砂(表土)を3交代制で一カ月以上の間出荷した。

そんな中、丸興産業に入社する前



後輩から贈られた復興祈願ダルマ

に務めていた貿易会社の後輩達からたくさんの食料品と復興祈願ダルマが送られてきた。ダルマの右腕には「仲間が応援しています」、左に「貴方なら乗り越えられる」と直筆があり「止めどなく涙が流れた。そして、停電による暗闇の中、ダルマの前でロウソクに火をともし『やるしかねえ』と現実に立ち向かう強い決意を固めた」と当時を振り返る。

現在、ほとんどの道路は整備されたものの、海岸付近や北上川兩岸の防潮用高規格堤防の整備は遅れている。「整備(復旧)が遅れる事で人(特に働き盛りの若手)が他市や他県に流失し復興後、大不況となる。一早い復興に向けて、グループの総力を尽くしてあらゆる面で貢献していく」考えだ。

川兩岸の防潮用高規格堤防の整備は遅れている。「整備(復旧)が遅れる事で人(特に働き盛りの若手)が他市や他県に流失し復興後、大不況となる。一早い復興に向けて、グループの総力を尽くしてあらゆる面で貢献していく」考えだ。

第19回 出展企業募集

生コン技術大会 併設 パネル展示会

日時: 平成29年4/13(木)・14(金)
会場: 東京・大手町 日経ホール

第19回生コン技術大会併設パネル展示会の概要

- ◆展示時間 9:00~17:00
- ◆設営・撤去時間
【設営】平成29年4月12日(水) 16:00~18:00
【撤去】平成29年4月14日(金) 大会終了~20:00(完全退館)
- ◆ブース設備
・机(幅180×奥行60×高さ70センチ)…1本 ・椅子…2脚
・システムパネル(幅180×高さ180センチ)…1セット
・蛍光灯…1灯 ・社名板…1枚
- ◆出展料 1ブース 108,000円(消費税込)
- ◆募集ブース 25ブース(予定)
- ◆出展資料・申込書請求
株式会社 セメント新聞社 電話03-3535-0621
株式会社 コンクリート新聞社 電話03-5363-9711

主催: 全国生コンクリート工業組合連合会 全国生コンクリート協同組合連合会